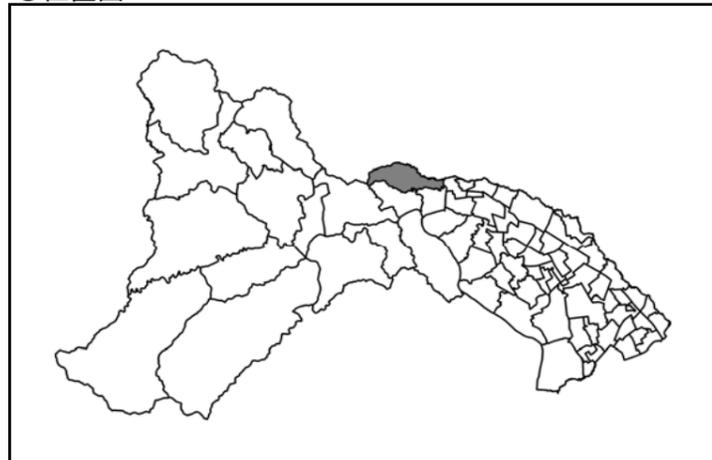


○地区を構成する町丁目

【緑区】川尻、広田、町屋1丁目～4丁目

○位置図



○地区自治会連合会名(自治会名)

城山(町屋, 自治会法人小松, 城北, 原宿)

○地区概況

旧城山町の北部を占める地区で、人口は地区の中央部を縦断する道路より東側に集中する。地区東部は比較的新しい住宅地があるほか、旧相模原市域との境界付近には大規模工場も見られる。また、町田市との境界には境川が流れ、川沿いの低地は浸水想定区域に指定されている。地区西部は大部分が山地で、谷沿いに住宅や農地が分布するため、それらの家屋の背後は急傾斜地崩壊危険箇所となるところが多い。地区の西端には貯水池や発電所があるほか、梅林やテニスコートなどのレクリエーション施設も見られる。

○建物数・人口

建物		区分		建物(棟数)	
建物	木造(昭和55年以前)	507	棟		
	木造(昭和56年以降)	1,201	棟		
	非木造(昭和55年以前)	74	棟		
	非木造(昭和56年以降)	219	棟		
	合計	2,000	棟		
人口		区分		人口(人)	
人口	0～4歳	252	人		
	5～64歳	4,279	人		
	65歳以上	1,378	人		
	合計	5,909	人		

○所見

- 西部の谷沿いの地区は、避難所から1km以上離れている。
- 富士山の大規模噴火時には2cm未満の降灰が予測されており、道路や鉄道の通行支障、停電などのおそれがある(風向きによってはより重大な被害のおそれもある)。

○防災関連施設

市役所、まちづくりセンター、出張所等の主な公共施設	
警察署	
消防署	
消防団詰所	町屋, 城北, 小松
病院等	
主な災害時要援護者施設	
幼稚園、保育園	城山幼稚園
学校、大学	広田小学校
避難所	※広田小学校
※洪水時避難所兼用	
洪水時避難所	
広域避難場所	
防災備蓄倉庫	広田小学校
※広域避難場所対応	
臨時ヘリポート	

○地震被害予測結果

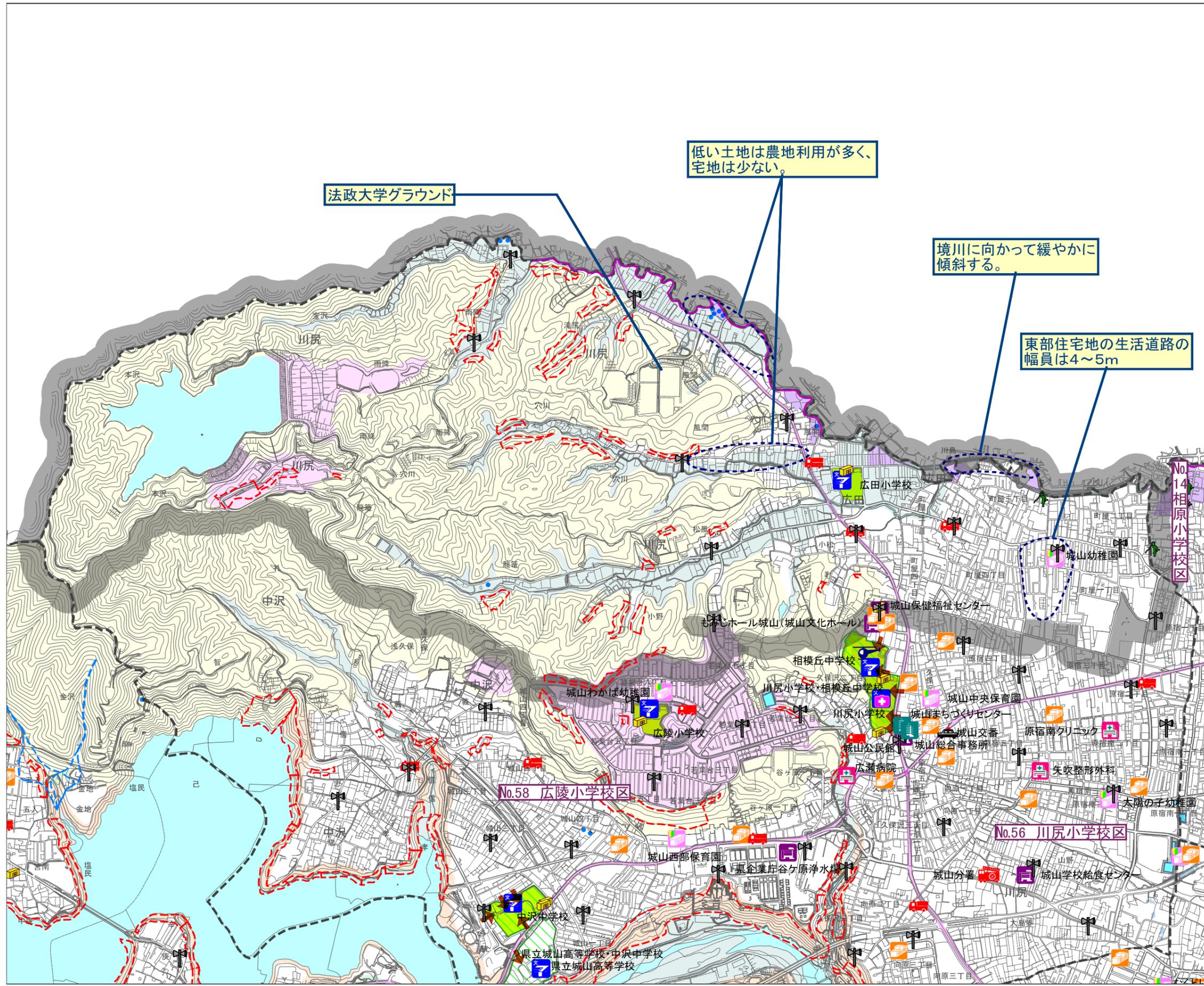
	東部直下地震		西部直下地震		大正関東タイプ地震	
	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率
建物全壊	90棟	4.5%	66棟	3.3%	2棟	0.1%
建物焼失	20棟	1.0%	7棟	0.4%	0棟	0.0%
死者	6人	0.1%	4人	0.1%	0人	0.0%
閉込者	29人	0.5%	21人	0.4%	1人	0.0%
重傷者	8人	0.1%	6人	0.1%	0人	0.0%
軽傷者	50人	0.9%	44人	0.7%	7人	0.1%
避難所避難者(当日)	240人	4.1%	174人	2.9%	12人	0.2%
避難所避難者(1週間後)	506人	8.6%	437人	7.4%	97人	1.6%

○災害危険度評価

危険度評価項目	→危険度が高い
水害	
土砂災害	
地震による地盤災害	
地震による建物被害、火災	

○近年の主な災害履歴

平成20年 8月28日 床下浸水6戸、床上浸水3戸



凡 例

防災関連施設等

	市役所、まちづくりセンター等
	公民館、主な公共施設等
	警察署、交番、駐在所
	消防署
	消防団詰所
	病院等
	主な災害時要援護者施設
	幼稚園、保育園
	学校、大学
	避難所・洪水時避難所
	広域避難場所
	広域避難場所への車両進入可能箇所
	救護所
	防災備蓄倉庫
	ひばり放送塔
	雨水調整池
	臨時ヘリポート
	災害時協力井戸
	緊急輸送路
	小学校区境界
	地区自治会連合会境界

地形分類

	山地・丘陵地
	低地
	台地
	台地上の浅い谷
	段丘崖
	山麓堆積地形・扇状地
	人工地形

災害履歴

	浸水があったところ
	土砂災害があったところ

災害危険箇所等

	重要水防区域
	浸水想定区域(河川氾濫)
	浸水想定区域(内水)
	浸水被害警戒地域
	土石流危険渓流
	土石流危険区域
	急傾斜地崩壊危険箇所
	地すべり危険箇所

書き込み欄


みなさんが知っている防災の情報を記入しましょう(例: 浸水しやすいところ、防火水槽の位置など)



1:15000



平成26年度作成